

電流 ON・OFF 検知モジュール (SSR 出力型)



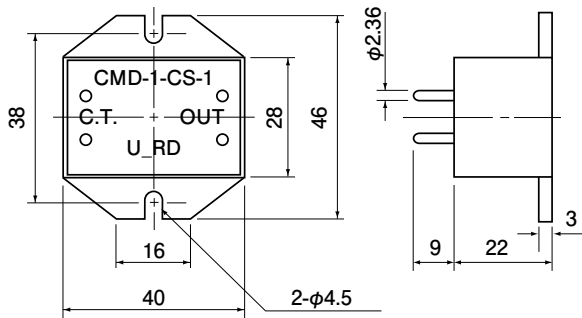
型式 CMD-1-CS-1

RoHS10 対応品

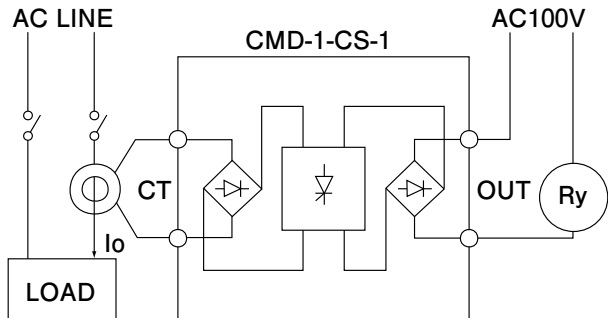
〔特長〕

- 交流電流センサとの組合せで、電流の有・無を簡便に判別するためのモジュール。
- 電源を必要とせず、無極性のSSR出力で、AC100Vラインのリレーを直接駆動可能。
- 使用するセンサの選択、使用条件の変更などにより、動作点をある程度任意の電流値に設定可能。

〔外形図〕



〔接続図〕



〔仕様〕 Ta=25°C

適用電流センサ	ON感度typ	OFF感度typ
CTL-6-Hシリーズ	0.7A	0.6A
CTL-12-S36-10	0.8A	0.7A
CTL-24-TE	0.9A	0.8A
CTL-6-P.S-Z	0.4A	0.3A
CTL-12-S60-7Z	0.3A	0.2A
CTL-12-S30-10Z	0.4A	0.3A
CTL-24-S28-10Z	0.4A	0.3A
CTL-6-S32-8F-CL	2.8A	2.5A
CTL-10-CLS	1.1A	0.7A
CTL-16-CLS	1.1A	0.7A
出力回路		
出力仕様	SSR出力: AC120V / 0.3A MAX (直流回路ではONホールドします)	
使用条件	-20°C ~ +75°C, ≤80%RH, 結露のないこと	
保存条件	-30°C ~ +90°C, ≤80%RH, 結露のないこと	
ネジ締めトルク	0.7N・m	
質量	約17g	

〔備考〕

- (1)動作感度は代表値、実用には余裕をみてください。
- (2)付属品 . . . . . 各4個  
リセプタクル端子 (LVF-0.1T-2.36N)  
スリーブ (S1P-LV)
- (3)小電流の判別を行うときは検出する電線を電流センサの貫通穴にNターンすることで、電流感度はN倍となります。
- (4)電流感度を下げたいときは、電流センサ出力端子に抵抗 (RL) を並列に接続します。  
 $E_o = I_o \cdot R_L / n = 1.8 \sim 2 (V)$   
を目安として、計算できます。  
 $E_o$  : 電流センサ出力電圧 (V)  
 $I_o$  : 動作電流値 (A)  
 $n$  : 電流センサ巻線数 (ターン)
- (5)過大な電流が連続して流れると、モジュール内部が焼損します。  
CT出力電流 ( $i = I_o / n$ ) の値が0.15Aを越える場合は、CT出力に抵抗を並列に接続して、モジュールに流入する電流を低減させてください。  
 $R = 5V / (i - 0.15A) \dots (\Omega)$  を目安として抵抗値と、容量を選択してください。